

こころ、つなぐ、ならは、明日へ!!

# ならは

広報

2019 JAN 第588号

1

## 謹賀新年

新しいならは、始まつてる。

特集

ずっと続く未来へー。

今年、「農」が輝く。

ならはスカイアリーナ

●表紙PHOTO:

檜葉で暮らすオシャレな女の子。  
夢は大好きな着物の文化を海外  
に発信すること。





榎葉町長

松本幸英



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭に当たり、今年一年の町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、仮設住宅等の供与終了を機に帰町が進み、町内居住者が人口の5割まで回復しました。本年は、スマートインターチェンジと屋内体育施設「ならはスカイアリーナ」がオープンするほか、Jヴィレッジも全面再開する予定であり、交流人口が拡大し、新たな賑わいが生まれるものと期待しています。そして、榎葉に戻ってこれられ

### 「新生ならは」へ、覚悟をもって

た方々に「戻ってよかった」と思っていただけのように、さらなる生活環境の整備や地域コミュニティづくりに取り組むとともに、単なる復旧に留まることなく、新たな魅力をもつ「住みたいまち」へと前進してまいります。これからも復興の歩みを止めることはありません。教育と農業の2つを重点施策とし、「新生ならはの創造」に向かって、決して揺るがぬ強い覚悟で進みつけます。本年が皆様にとって、明るく希望に満ちた一年でありますことを願い、新年のご挨拶いたします。



榎葉町議会議長

青木 基

輝かしい新春を迎えお慶びを申し上げますとともに、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。さて、早いもので避難指示解除から丸3年の歳月が経過し、今日、町内を見渡しますと買物、医療、介護、福祉などの生活基盤も概ね整い、予想を上回る賑わいのある復興を実感できる環境となりつつあります。

しかし、今後、町が復興・創生をさらに前進させ完全復興を成し遂げ、持続的な発展を進めるには若者が定住するための企業誘致による雇用創出をはじめ、さらなる帰町環境の改善が必要であると考えます。

### 飛躍の年に

復興・創生期間も終盤を迎え、今後の住民の帰還促進への環境整備と生活再建などを重点課題に議会・執行部とも総力を挙げ取り組んでいかなくてはならないと考えております。町議会としても、本年を「復興のさらなる進化の年」と位置付け、町民の声を町政に反映させるとともに、当面する様々な課題等について国・県・関係団体に対し要望活動を行ってまいります。皆様のご多幸と御健勝そして素晴らしい飛躍の一年になりますことを願いながら、新年のご挨拶いたします。

HAPPY NEW YEAR 2019



# ずっと続く未来へ――。



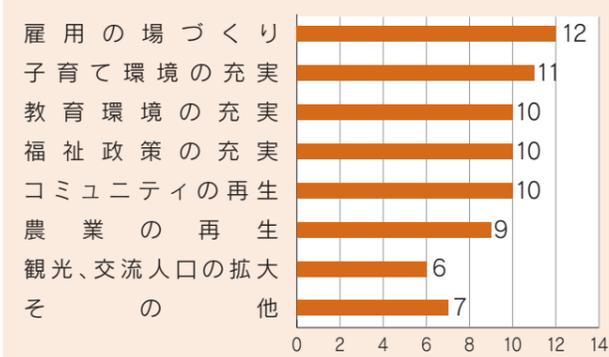
さあ、アンケートの結果を見てみよう



町政懇談会への参加者が27人と少なかつたため、今回のアンケートでは、今後のまちづくりの参考とするための十分な回答数を得ることができませんでした。

しかし、ご回答いただいたアンケート結果は、ご協力いただいた皆様一人一人の大切な「声」ですので、町が進むべき次の一歩への貴重なご意見として紹介させていただきます。

## Q これからの檜葉町にとって重要だと思うものは何ですか？(複数回答)



各選択肢、ほぼ同数の結果でしたが、僅差ながら「雇用の場づくり」が最も多く選択され、次いで「子育て環境の充実」「教育環境の充実」が求められました。今回の回答者には子育て世代が少なかつたにもかかわらず、未来を担う世代への手厚い施策が重要と考えている方が多いことがわかります。

また、選択の偏りが少なかつたことから、多方面においてバランスのとれた町政が求められていると考えられます。

## みんなの声が、次への一歩

―平成30年度町政懇談会―

11月25日に今年度の町政懇談会を開催しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

懇談会では、町の重点施策である、教育の充実と農業の再生に向けた取り組み等を中心に、町内の状況や各種施策を説明し、町民の皆様からのご意見・ご質問をいただきました。その主なものについて、現在の町の考え方などを整理し、まとめたものを同封しておりますので、ぜひご覧ください。

さて、今年の町政懇談会では、参加された皆様に『住民満足度アンケート』にご協力いただきました。そこで、今月号ではアンケートの結果をもとに、住民の皆様のご意見などを紹介します。

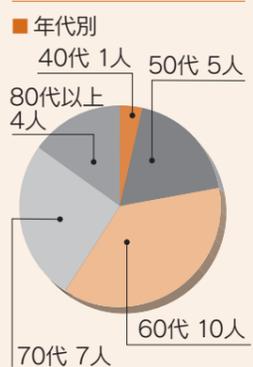
町政懇談会を担当する政策広報室の山内と五十嵐が今年度の懇談会を総括します！

よろしくお願いします



## 【町政懇談会に参加されたのは、こんな方】

- 参加者 27人
- 性別 男性 17人、女性 10人
- 地区別 北地区 19人、南地区 8人



性別では男性、年齢は60代以上の方が多かつたね



町が住民の皆様のご意見を伺える大切な機会です。より多くの、そして幅広い年代の方に参加していただけるよう工夫していきます。



### Q7 町に意見を伝える方法は？ (複数回答)

私たち役場職員に対するご意見もありました。

- ① 窓口で直接(10人)
- ② 電話(12人)
- ③ 行政区長を通じて(8人)
- ④ 民生委員を通じて(3人)
- ⑥ 役場職員を通じて(11人)
- ⑦ 町政懇談会(9人)
- ⑧ その他(議員)(1人)

大切な時期なので、職員一人一人が明確なビジョンを確立し、全員参加で、それぞれが精いっぱい頑張りたい。 (70代・男性)

職員の雇用については、年齢にとらわれず能力と意欲を重視してほしい。 (60代・男性)

アンケートでは、町からの説明について一定の評価をいただきましたが、引き続き十分な説明に努めてまいります。また、広く住民の声をお聴きする「広聴」はまちづくりの基本ですので、どのような方法であれ、お困りごとやご意見は、ぜひお気軽にお聞かせください。

頼られる職員に!



ぼくたち、期待されてるんだね!

### Q8 今後の檜葉町に望むこと・町政へのご意見 (自由記載欄)

- ◎若者が定住できる政策が必要(60代・男性)
- ◎人口を増やす政策が必要(60代・男性)
- ◎帰町者を増やす施策を行ってほしい(70代・男性)
- ◎町民の心を重視した行政に移行してほしい(70代・男性)
- ◎施策の内容を充実させ、生活しやすく、人が支え合う町づくりを目指してほしい(60代・男性)
- ◎10年後、20年後を見据えて、長いスパンでの町づくりを描いてほしい(70代・男性)
- ◎「檜葉に住みたい」と思える環境づくりが必要(70代・男性)
- ◎住みやすさをアピールすべき(60代・男性)

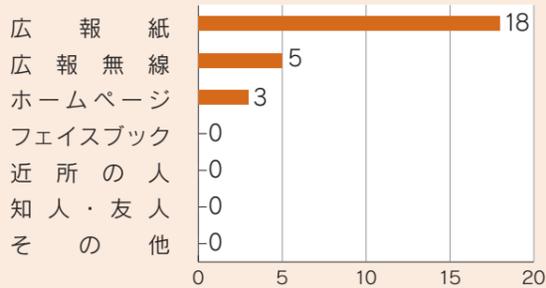
#### 町長出前講座のご案内

町政懇談会は、参加者が少なくなっているため、昨年度から年に一度の開催としています。行政区など、少人数のグループで気軽に話していただくことができる町長出前講座をご利用いただけますので、政策広報室(☎0240-2316150)までお気軽にお問い合わせください。



私たちが発信している町の「広報」についてもお聞きしました!

### Q5 町からの情報を何から得ていますか?



ターゲットに応じてSNSも積極的に活用しよう!



伝えるだけじゃダメ! 伝わらなくちゃ!

### Q6 政策や考え方について、町は説明できていますか?

- ① かなり説明して、よく伝わっている(1人)
- ② ある程度、説明している(14人)
- ③ あまり説明していない(4人)
- ④ 説明していない(1人)
- ⑤ どちらともいえない(1人)



町政懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。私、町政を担わせていただいているので、今後も引き続き、力を注ぎます。

今日までの間、町に「種を蒔いてきた」という思いがあります。まずは買い物環境などの生活インフラを整備することを優先してきましたが、重点施策としている教育と農業を中心に、これまでに町内に蒔いてきた多くの種は、今後それぞれに成長して、根や茎がつながり合って大きく花開くはずですよ。

こうしたまちづくりを行い、多くの方に「檜葉に住みたい」と思っていたことも大切です。さまざまな形で檜葉の魅力を外にしっかりと発信することも重要だと考えています。

### Q3 「不満」の主な理由は?

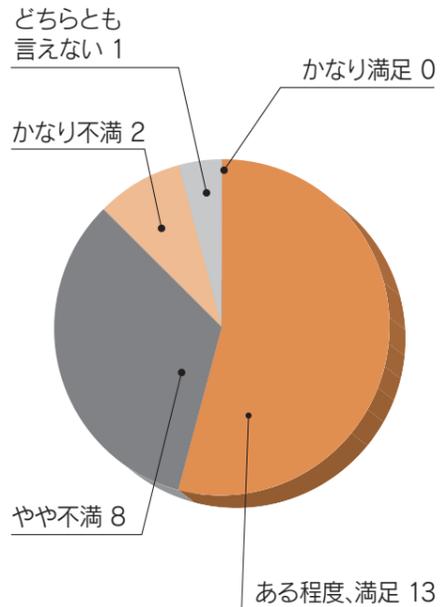


これらの二つを比較すると、人によって評価が分かれているようですね

### Q4 「ある程度、満足」の主な理由は?



### Q2 現在の檜葉町に満足していますか?



まだまだ「不満」の方もいるけれど、「満足」の方もいらっしゃる! もっともっと頑張ろう!



詳しく見ていきましょう。

#### 【買い物環境】

ここなら笑店街の整備等により、便利になったと評価される方がいる一方、「まだ不十分」と感じる方もいます。「震災前より便利になった」と考えるか、「他地域とくらべて不便だ」と考えるかの違いでもあるようです。より便利に買い物ができる環境を創造していきます。

#### 【医療機関】

医療機関についても同様のことが言えます。「震災前より充実した」と評価する方と、他地域と比較すれば「まだ不便だ」と感じる方がいます。

なお、町内にはまだ薬局がないことが「不便」の一因と考えられます。早期に薬局ができるよう、町は関係機関に働きかけていきます。

#### 【教育環境の充実】

教育環境に関しては、多くの方に「充実している」と評価していただきました。学校と連携して保護者の声もしっかりお聞きするなど、子育て世代の皆様のご意見にも耳を傾けていきます。教育環境は、農業の再開とともに、町の最重要施策と位置づけられていますので、今後も引き続き、力を注ぎます。

# 今年、「農」が輝く。



## 開発にもチャレンジ

松本 淳(水稻/山田浜)

平成29年から米づくりを始め、「天のつぶ」を栽培し、昨年は「ひとめぼれ」をつくりました。もち米もつくっています。津波により農業用機械が流されてしまいましたが、地域の方に手伝っていただき、いろいろな人に支えられています。震災後、水稻を始めにあっては、津波の被害に遭っている田んぼのため、石が多く、手作業で一つ一つ石を除いた作業が一番大変でした。

今年は、ハーブやユズなど新しい品目にもチャレンジしたいと思っています。また、生産だけではなく特産品開発にもチャレンジしていくつもりです。



## 楽しい挑戦

佐藤 修一(花き/上繁岡)

実証栽培を経て、平成29年度から出荷しています。震災後、これからの品目として新たに花き栽培に取り組んでいます。まだなかなかうまくいかず、栽培方法などの技術の習得が一番の課題です。昨年は、夏の猛暑で生育調整がうまくいかず失敗してしまったものがありましたが、試行錯誤をしながらの挑戦はワクワクし、栽培を楽しんでいます。

今年は、これまで失敗した問題点を改善し、より美しい花を作って出荷率を上げていきたいです。



## 新3K農業

内田 政樹(サツマイモ/しろはとファーム)

初年度となった平成30年、しろはとファームでは、多くの檜葉町の皆様のご協力によって、11haのサツマイモを無事、収穫まで終えることができました。収量的には100点満足の結果ではなかったものの、1株1株の出来は大変良好で、1個当たりの重量や形状は理想的! 檜葉町の風土がサツマイモに適していることを確信しました。

今年は、昨年よりも大幅に規模を拡大し、新3K「キレイ・気持ちいい・カッコいい」農業で檜葉の農業をステキにしていきます。乞うご期待!



## 楽しみながら

松本 里香子(ユズ/松館)

平成30年産は実が大きくて肌の良いユズがたくさん実り、大豊作となりました。昨年から檜葉町ユズ研究会の会員となり、ユズの栽培等についていろいろ教えていただいています。研究会では、ユズの本格出荷に向け、これまで樹木の剪定や放射能検査等を進めてきました。そして、昨年、ユズ酒「ゆず里愛」の販売に至りました。

今年は、ユズを使った商品開発に取り組み、特に女性の方に好んでいただけるような商品開発を目指し、多くの方に喜んでもらえるよう楽しみながら頑張りたいと思っています。



## この道を

渡辺 秀幸(畜産/山田岡)

平成28年に4頭で畜産を再開し、現在は25頭を飼育しています。昨年は8頭の子牛が生まれました。これから4頭を新たに導入する予定なので、間もなく29頭になります。

牛を導入するにも、牛の購入価格が震災前の倍近くになっています。資金的な部分が一番大変ですが、長年やってきたこの道をしっかり進んでいきたいと思っています。

今年は、昨年以上の生産を目指し子牛を無事出産させて、丈夫ないい牛を育てたいです。

## 農業新時代宣言

### 檜葉の農業は、変わります。

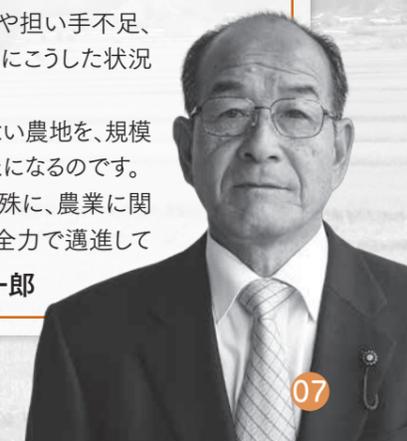
JA福島さくら檜葉支店の西側に完成した水稻育苗施設。木戸川橋近くにそびえ立つ大きなカントリーエレベーター。これらは、今年の作付分から利用が始まります。

震災は、檜葉の農業を大きく変えたと言わざるを得ません。農業に従事する人の高齢化や担い手不足、それらに起因する荒廃農地の拡大は全国的な課題ですが、檜葉町においては、震災を境にこうした状況が急激に訪れたと言えます。

このようなことから、檜葉の農業は新しい形態に変わることが求められています。利用されない農地を、規模の拡大を目指す経営体に集積を図ることにより、農地を効果的に利用していく方向へ進むことになるのです。

檜葉町は、震災からの復旧に留まらない、新しいまちづくりに向け、力強く進んでいます。殊に、農業に関しては重点施策となっており、農業委員会も農業の再生へ向け、町とともに新しい農業に全力で邁進してまいります。

檜葉町農業委員会会長 遠藤 庄一郎





アリーナ



プール(6コースの25メートルプールのほか幼児用プールも併設)



フィットネスジム

室内練習場(アリーナ)や屋内プール、ランニングコースが併設された体育施設です。  
スポーツ振興の核として、住民の健康づくりと交流人口の拡大を図る、新たな復興拠点です。  
お問い合わせ先:教育総務課(☎0240-23-6190)

利用にかかる料金や時間、会員種別などの詳細は  
3月号に掲載!! 4月に備えて心とからだのご準備を!

**4月オープン!**

新しい年。からだ、動かそう。

# ならはスカイアリーナ

# そして、日本一のサケの川へ(1)

## 増殖事業の歴史―自然保護(種川制)から人工ふ化へ



鈴木謙太郎さん(木戸川漁協)

今回は、木戸川漁業協同組合にとって何より一番大切な、サケのふ化増殖事業の歴史を詳しく、わかりやすくお話ししたいと思います。

### 種川制

サケふ化増殖の歴史は遙か昔、江戸時代中期に遡り、新潟県村上市を流れる三面川(みおもてがわ)で自然産卵による保護(種川制)が行われたのがはじまりです。

「種川制」とは、川の瀬に柵をつくり、そこにサケを追い込んで産卵させ、春になって稚魚が川を下

る季節には漁を一切禁じるという方法でした。つまり、すでに当時から、サケが生まれた川に戻ってくる習性は知られていたのですね。

自然な保護によって増殖させようとする種川制は、やがて人工的な方法に変わっていきます。日本初の本格的なふ化場が北海道の石狩川支流千歳川に建設されたのは、明治21年

のことです。こうして、サケの増殖技術は飛躍的に発展することになりました。

実は、この日本初のふ化場を造った方が、タレントの中川翔子さんのひいひいおじい様で、北海道庁初代水産課課長、伊藤一隆氏なのです。このことを知り、一瞬にしてしょたんが好きになってしまいました(笑)



### 人工ふ化へ

しかし、人工ふ化増殖事業は明治27年頃から問題を抱えるようになりました。河川で採捕した親魚を売却してふ化場運営の資金としていたのですが、多く捕りすぎてしまい、ふ化増殖用の親魚が十分に確保できず、このためさらにサケ資源が減少してしまう悪循環が続いたのです。

そこで、国を挙げて「日

### 木戸川漁協のあゆみ

本のサケ資源を増やそう!」と、昭和26年に水産資源保護法(河川に遡上したサケの採捕禁止)が制定され、昭和30年からは国や県が費用の一部を負担し、北海道と本州の河川には多くのふ化場が建設されました。福島県内にも11か所(現在は10か所)のふ化場が続きと建設され、木戸川や井出川のふ化場も建設されたのです。

木戸川のサケの歴史については、残念ながら資料が乏しいのですが、檜葉町歴史資料館に残されている資料により、寛文11(1671)年7月、当地方を治めていた磐城平藩主の内藤侯が「初鮭一番鮭から五番鮭まで献上した者に褒美を下す」という達しを出していることがわかっており、木戸川のサケ漁もこの頃から盛んに行われていたと思われれます。採捕されたサケは、

ふ化は慎重な作業

藩主や役人への献上品や御贈答品として使われていたそうです。それ以前は、いつからサケがいたか不明です。木戸川漁協が設立されたのは昭和26年9月のことです。約2年後の昭和28年、清水が湧く北田金堂地内に20万粒規模の最初のふ化場を建設しました。そのふ化場は、1年後に襲ってきた台風で裏山が崩れ壊滅してしま

### 悲願の日本一

長い年月、先人先輩方の度重なる困難を乗り越え

てきた努力の結果、平成7年の秋、サケの採捕尾数が100,703尾を数え、木戸川は初めて悲願の日本一に輝きました!翌年の平成8年の秋には木戸川過去最高尾数、なんと166,926尾も捕れたのです。当時の組合長たちの話によると、田んぼや用水路の中にまでサケが入ってしまうほどで、あまりにも捕れすぎて、漁協も途中で数えるのを止めてしまったそうなので、もしかしたら20万尾ぐらい捕れていたのかもしれないね(笑)。

しかし、困難が襲って来れば、そのたびに乗り越え、徐々に増殖事業の規模を拡大してきました。こうして、昭和58年に1,000万粒規模の現第1ふ化場が、そして平成3年3月に第2ふ化場が完成し、合わせて1,200万尾、1,500万尾を放流できるま

でなくなったのです。それまでは、採捕数も観光も浪江町の泉田川の方が多く、当時の木戸川漁協は「いつか泉田川を越えてやる!」と、泉田川に何度も何度も足を運んで勉強したそうです。そして、「いつの間にか泉田川どころか日本一にまでなってしまった!」と笑いながら自慢していました。その後、平成13年に井出川漁協と木戸川漁協が合

昭和26年9月	木戸川漁業協同組合設立
昭和28年	北田字金堂地に初めての人工ふ化場(20万粒規模)を建設
昭和29年9月	台風により裏山が崩れ、ふ化場が壊滅
昭和29年	北田字中川原にふ化場(50万粒規模)を建設
昭和51年3月	前原字中川原にふ化場(300万粒規模)を建設
昭和53年	現在の場所に築場を建設
昭和58年3月	1,000万粒規模の現第1ふ化場を建設
平成 3年3月	現第2ふ化場を建設
平成 7年	採捕尾数で初の日本一
平成13年	井出川漁協と合併

併すると、井出川ふ化場も活用できるようになったため、これまで以上に健苗な稚魚を安定的に放流することができるようになりました。ちなみに採捕尾数は国立研究開発法人水産研究教育機構が毎年、ランキングを公表しており、木戸川は毎年ランキングの上位なのです! その後も毎年、上位にランクインしていましたが、皆さんもご存知のとおり、東日本大震災の影響で再びふ化場ができる前の状態に戻ってしまったのです。(次回に続く)

自然産卵をするサケのカップル(左がオス)

# ならは周遊 MAP2019



豊かな自然に加えて、  
いろいろな「楽しみ」が増えてきた  
最近の橿葉町。  
買いもの、飲食、運動に趣味……。  
ここでできることが急速に拡大中！  
2019年の橿葉町を五十嵐主事が  
ナビゲートします。

今年のおぼくは  
休日も大忙し！  
交流館の  
サウンドルームで  
バンドの練習

カッコ  
よすぎかよ、  
俺……

夏には  
交流館で  
ライブを  
やっちゃおう？

ジョジョ

ホトギス山への  
トレッキング！  
美しい橿葉の  
風景を独り占めさ！

ホトギス

たまには釣り  
にも行きたいな。  
下繁岡のため池の  
バス釣りが  
スゴいんですから！

ギター

新しい年の  
最大の抱負は、  
できる行政マンに  
なることです。

ガ

明けまして  
おめでとうございます。  
1年目の新人、政策広報室の  
五十嵐と申します。

ちなみに、  
昨年度まで横浜で  
働いておりました。

ガ

微力では  
ございますが、  
ふるさと橿葉の  
復興の一助と  
なるべく、  
不肖イガラシ、  
帰つてまいり  
ました！

キッ

以後  
お目知りおかせよう

橿葉  
すこく楽しいです！  
新しい今年の橿葉、  
あなどれませんよ！

皆さーん、  
いっしょに橿葉を  
楽しませよう！

RAHA

母さーん見てー  
ニームな大まいおイモ  
できたよー♡

たまのたまには  
両親の手伝いもする！  
（そんな大人に私はなりたい）

だけど  
遊んでばかりじゃ  
子どもと同じ！

泳いだり、  
走ったり、今年こそ  
たくましいカラダを  
つくってみせます！

いちばん  
楽しみなのは、  
なんつたって  
スカイアリーナ  
です！！

今年、橿葉を  
楽しみ尽くします！

数年ぶりで  
帰ってきた  
橿葉はすこく  
変わりましたね。

今年、橿葉を  
楽しみ尽くします！

仲間もできた！  
彼らと語り合える  
場所も、町内に続々  
増えてきた！

横浜から帰ってきて  
最初に驚いたのは、  
この美しい星の空だった！

春には  
道の駅でも、  
温泉と  
レストランが  
再開します。

そして、  
しおかぜ荘で  
まったりと……

時にはJヴィレッジで  
サッカーも！  
Jヴィレッジ駅も  
できるんですよ！

## アメリカで 檜葉の復興を発信

町長は、12月13日からロサンゼルスを訪れ、災害研究者や学生らに対し、震災と原発事故からの復興について講演を行いました。

この講演は、町の復興計画策定に関わった関西大学から依頼があったもので、同大学と共同研究プロジェクトを行っている南カリフォルニア大学のほか、同大学で行われた国際シンポジウム及びチャップマン大学において、原子力災害の被災経験と復興について報告しました。

世界的にも稀有である全町避難や復興への歩みを国外に発信することは、被災を経験した私たちの責務でもあり、また、今回の講演でアメリカの危機管理担当者や災害研究者らと交流したことによって、今後の防災にも新たな知見を得ることにつながりました。



## 渡邊さん、100歳賀寿

波倉の渡邊セキさんが11月30日、100歳の誕生日を迎えられました。12月1日、千葉県内の介護施設にお祝いに伺い、記念品を贈呈しました。

渡邊さんは、100歳とは思えない若々しさで、お孫さん2人、ひ孫さん5人、やしゃごさん10人のお名前をすべてスラスラとお答えになれるほどです。

この日はご家族からの祝福に満面の笑顔をみせていました。

長生きの秘訣については、「好き嫌いをせず何でも食べることで、できる事は自分ですること」とのことです。おめでとございました。

檜葉町の100歳以上の方は、8人(すべて女性)になりました。



ご家族に囲まれお幸せそう

## ママになった方へ、愛の藍ストール

檜葉まなび館で活動する「ならは藍染会」から、「お子さんを出産されたお母さんへの贈り物として使用してほしい」と、町に藍染のストールが寄贈されました。

このストールは、「ならは藍染会」の会員さんたちが、新たな生命の幸福を願い、また、出産という大きな仕事をやり遂げたお母さんたちに思いを馳せ、1枚1枚丁寧に染めあげたものです。今後、保健師の新生

児訪問の際にお渡しする予定です。

子育ては、ご家族の最高のよろこびですが、苦勞もあれば思い悩むこともあるでしょう。そんなときは、一人で抱え込まず、だれかに話してみてください。町のみんなで見守っています。

町では今後も、新しく町民となったお子様の成長を見守り、保護者の方々の子育てを応援していきます。



「藍染をやってみたい」とジャオさん(上井出)  
「出産お疲れ様。すくすく育ってね」(藍染会の会員さん)  
(写真は右から藍染会の永山さん、遠藤さん、ジャオさん、今里保健師)

## 園児きらきら！ 生活発表会

12月1日、あおぞらこども園の生活発表会が行われました。ご家族などが見守るなか、0歳から5歳までの全園児が、日々取り組んでいることやこれまでの経験を、歌やダンス、劇などを通して発表しました。それぞれの年齢に応じたプログラムはどれも愛らしく、園児たちの成長は目をみ張るものがありました。

なかでも客席から大きな拍手が起こったのは、3・4・5歳児による英語の歌の歌唱です。日ごろからALT(外国語指導助手)のペラ先生と英語に親しんでいるため、あつという間に3曲をマスターしたそうです。本番でも圧巻のパフォーマンスと発音で歌い上げ、保護者の皆さんは少し驚きながら、お子さんの成長を喜んでいました。



4歳児による劇「おおかみと7匹の子やぎ」



4、5歳児によるオープニングは「YMCA」!!      ポンポンを持って楽しくダンス(1歳児)      プリキユアになりきってキュートに(3歳児)

## 功績を讃え表彰

12月2日、平成30年度檜葉町表彰式が開催され、町政復興及び発展のために功績のあった方々に対し、特別功労章、功労章を贈呈しました。表彰された皆様は、それぞれ長年にわたり、議会議員や代表監査委員を務められ、町政の進展に大きく寄与された方々です。

また、歴代町長の肖像画を寄贈され、交流館の落成に際して絵画展を催された檜葉町出身の画家、齊藤五男氏(東京都)にはその善行を讃え表彰しました。おめでとございました。



特別功労表彰	永山清(下北)	山本守(北田)	広清(北田)	男(北田)	小(北田)	嶋(北田)
功労表彰	猪狩(北田)	古市(北田)	箱崎(北田)	守(北田)	福(北田)	豊(北田)
善行表彰	齊藤五男(東京都)					

(敬称略)

## 今年のイルミは海中散歩!

今年も天神岬スポーツ公園がイルミネーションで彩られています。今年の特テーマは「天神岬ラグーン」。ラグーンとは浅瀬のことです。天神岬に幻想的な光の水族館が出現しています。ご家族やお友だちといっしょに、ぜひ冬の海中散歩をお楽しみください。イルミネーションのライティングは1月20日(日)までの午後5時から9時までです。



～お金は人のために使う～



幼い頃、祖父母からお小遣いやお年玉をもらったことは、なつかしい思い出です。年金収入から工面してくれていたのだと、今になって気づき、感謝もひとしおです。

瀬谷介護保険係長 ▶

お金の使い方は人によってさまざまですが、より幸福度が高いのは「人のためにお金を使うこと」と言われています。(意外ですよ！)

「人のためにお金を使って幸福感を得る」とは、どういうことなのでしょう？

たとえば父の日や母の日にプレゼントを贈ると、両親は喜んでくれますよね。

人はだれかに「喜んでもらえた」と思えた時、**自分自身の存在を肯定することができます。**「自分はここにいていいんだなあ」と安心するのです。これは、集団社会の中に生きる人間にとってとても大切な本能的要素で、これがないと精神のバランスが崩れてしまいます。

また、冠婚葬祭やお中元・お歳暮、旅行のお土産など、人のためにお金を使うことですが、これらは人間関係やつながり、信頼などを築いて維持する上で大きな役割が



「その他の消費支出」の内訳をみると、若い世代にくらべ、「交際費」が1.91倍と高くなっており、子や孫の世帯への贈答品・祝い金などが高くなっています。

消費支出の構成比：世帯主が65歳以上の二人以上の世帯(高齢者世帯)(平成28年家計調査)

ですから、ずっと欲しかったブランドのバッグが買ったときは幸せな気持ちになりますが、こうした自分ひとりで完結してしまうお金の使い方は、幸福という観点からみると、少しもつたないと言えらるかもしれません。

人が喜んでくれた時に得られる自己肯定感と、自分の心の余裕が、私たちを「幸せ」と感じさせます。だから、瀬谷係長のおじいさんおばあさんも、かわいい孫にお小遣いをあげられることを、きっと幸せに感じていると思いますよ！

◀地域包括支援センター職員 江尻さん



足もとに未来をみつめて

第8回

ちよと不便でなつかしい!? ちよと昔の榊葉町

榊葉町歴史資料館

先ごろ、55年ぶりとなる「大阪万博」の開催が決定し、話題となりました。さまざまな娯楽のある現在では、「万博」に心躍らせる方は少ないかもしれませんが、1970年の「大阪万博」は、全国民が熱狂し、日本全体が一つとなった一大イベントでした。スローガンは、「人類の進歩と調和」。だれもが輝かしい未来を信じて邁進した時代です。今月は、元氣な70年代の榊葉町を振り返りたいと思います。



第1回町民号出発式(1970年)



第1回夏期成人式(1974年)

1970年代の榊葉町

1956年の合併当初10,000人超の人口を誇っていた榊葉町は、主力産業だった石炭業や林業の衰退とともに人口が流出し、1970年には8,200人にまで減少しました。このため、同年4月、過疎地域振興特別措置法に基づく「過疎地域」に指定されます。また、60年代後半には榊葉町産院と国保診療所が閉鎖されるので、私たちから見ると、暗い時代であったように感じがちで

すが、この頃の榊葉町は、貧しくとも官民一丸となって事業を推進した時代といえるようです。第1回町民号、第1回町民体育祭、第1回成人式、第1回産業文化祭、第1回町民マラソン大会など、今に残る事業の多くが、この頃に生み出されたもので、し、農業の大規模化・機械化の波は企業進出を促し、活気にあふれた町を現出させました。磐城無線や三晃ドレスなどの企業をご記憶の方も多いでしょう。

50年前と今

「縄文人が現代社会を見たら、どんなに驚くだろうか」と私たちは思います。でも、よく考えてみてください。たった50年前と今とを比較してさえも、驚かずにいられるでしょうか。携帯電話もゲームもパソコンもありません。カラーテレビ放送も60年代後半になってようやく始ま

便利さを追求して

りました。けれども、この時代にこそ、郷愁を感じる方が多いのです。それはなぜなのか、いろいろな見方があるでしょうけれど、「ちよと不便なくらいがちょうどいい」と感じる方が多いからかもしれません。社会の進み方も、今よりもっと「ゆっくり」していたはずですよ。

一方、70年代後半は、福島第二原子力発電所の1号機の建設が着工し、電源三法交付金事業も徐々に増えていく時代です。こうした急速な変化が、それまでの町の姿を大きく変えました。そして、町のあるべき未来像を十分に描く時間がないまま、無心に突き進んだ時代といえるでしょう。進歩を求めることを否定することはできません。50年前の先人が必死になって生きてきたからこそ、いまの生活がある

のですから。しかし一方で、私たちの胸の内にはどこか、「進歩を求めれば、70年代と復興期間の今は、似ているかもしれません。単に「昔はよかった」とノスタルジックに振り返るだけでなく、当時と現代とを重ね合わせて考え、謙虚に歴史に学ぶ姿勢も大切ではないでしょうか。



町民体育祭のようす(榊葉中学校校庭 1970~80年代)

# 結果速報!

大成功!

# 『ならいざっぷ!』



『素敵な身体で健診を受けましょう』と呼びかけ、昨年7月から「ならいざっぷ」を実施しました。福島県立医科大学の大平先生をはじめ、理学療法士の岡崎先生や管理栄養士の林先生のサポートによるプログラムに、40人がトライ! 食生活を振り返り、日常生活に取り入れやすい運動を行って、楽しみながら「素敵な身体」をつくりました。

## 福島県立医科大学 岡崎先生の講評

参加者の平均では、血糖値が改善していました。実質の運動期間は約1か月でしたので、体重や腹囲の変化があった人・なかった人、それぞれでしたが、継続することで将来的に明らかな変化が見られると思います。これをきっかけに、ご自身の身体と生活習慣との関係について改めて見直し、健康づくりのきっかけにいただければ幸いです。



参加者の皆さんと岡崎先生

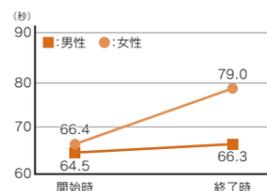
### ●HbA1c

顕著に改善したのは、血糖値を示すHbA1cの値でした。楡葉町には糖尿病の傾向のある方が多いので、うれしい結果です。



### ●片足立ちテスト

体力面も向上していました。片足立ちテスト以外にも結果に改善がみられ、全体的に筋力がアップしました。



京都・清水寺の森清範貫主は、毎年師走に、その年の世相を表す漢字一字を揮毫することで知られています(公益財団法人日本漢字能力検定協会主催の「今年の漢字」)。2016年には、楡葉町の町制施行60周年記念式典にともなう復興支援講演会でも、ご講演くださり、「輝」と「笑顔」の文字を揮毫されました。文字は、町民から広く募集されましたが、なかでも「笑顔」は、楡葉町の小中学生の応募によって選ばれています。

さて、本書には、春夏秋冬の季節ごとに、6つの法話がやさしく説かれており、それぞれに貫主の書画が添えられています。仏の教えとともに、四季折々の清水寺の風景や、貫主の先師であり、109歳で遷化されるまで清水寺の貫主を務めた、大西良慶和尚の思い出なども織り込まれています。読み終えるころには、きゅつと身が引き締まりつつも、暖かい感謝の気持ちに包まれます。心に留めておきたい言葉も満載ですので、メモのご用意をお忘れなく!

仏教には、幸せや安らぎの境地に至るための修行のひとつとして、相手に対して

## 『四季のこころ』

森清範 / 著 (KADOKAWA)



お問い合わせ先  
楡葉町図書室(楡葉町コミュニティセンター内)  
☎0240-2514730(月曜祝日休館)

- 【楡葉町図書室からのご案内】  
県立図書館からの本の入れ替えを行いました。新着図書もたくさん届いていますので、ぜひご利用ください。
- 【おすすめ図書】  
一般書  
『くよくよしない力』 フジコ・ヘミング / 著(秀和システム)  
『愛なき世界』 三浦しをん / 著(中央公論新社)  
『寺と仏像手帳』 土門拳 / 著(東京書籍)  
『菅江真澄が見た日本』 石井正巳 / 編(三弥井書店)  
『栗原心平のこべんと』 栗原心平 / 著(山と溪谷社)  
〔児童書〕  
『ブーと大人になった僕』 エリサベス・ルトリック / 著(偕成社)  
『犬ぞり探検家が見た!』 ふしぎな北極のせかい! 山崎哲秀 / 著(epicbook)  
『おほしさまのちいさなおうち』 渡辺鉄太 / 文(加藤チャコ) / 絵(瑞雲社)  
『大好き!おじさん文庫』 深山さくら / 著(文研出版)

色づく山を見ながらウォーキング中  
(11月10日藤沼湖)

# ならいざっぷ スポーツクラブ



広野・富岡・川内・楡葉からの参加者勢揃い!  
(11月11日ソフトバレーボール交流会)



構え、きまっていますね!?  
(11月11日ソフトバレーボール交流会)



お肉焼けたよ! 食べっせ~  
(11月10日藤沼湖)

## 『スノースクール』 開催します!!



ウインタースポーツの季節がやってきました!  
今年も《スキー》《スノーボード》《スノーハイキング》3つの教室を同時開催します。  
なお、今年のスノーハイキングは、猪苗代湖周辺を歩く予定です。

- 【期 日】2月2日(土)  
【場 所】猪苗代スキー場及び猪苗代湖周辺  
【対 象】小学1年生~一般  
(未就学児は保護者同伴となります。)  
【定 員】3教室併せて45人  
(定員となりしだい締め切ります。)  
【参 加 費】●小学生…2,000円  
●中学生~一般…3,000円  
\*未就学児は無料  
(スキー・スノーボード・ウェア・スノーシュー等を借りる方、また、スキー・スノーボードでスクール希望の方は、別途料金がかかります。)  
【申込期間】平成31年1月15日(火)9:00~1月25日(金)

●詳しい内容は、同封の「スノースクールのご案内」チラシをご覧ください。

## ウォーキング教室

全国に数多くある富士山の中から「ふるさと富士百名山」に選ばれている「滝富士」。太平洋が一望できる頂上めざして、早春のウォーキングを楽しみましょう。

- 【期 日】2月28日(木)  
【場 所】滝富士(いわき市遠野町)306m  
【定 員】27人(定員となりしだい締め切ります。)  
【参加費】3,000円(昼食を取る場合は別途実費)  
【申 込】平成31年1月21日(月)9:00から



## 「総会のお知らせ」

平成30年度の総会を、3月23日(土)に開催します。詳細につきましては、2月号でお知らせします。

〈お問い合わせ・お申込み先〉  
ならはスポーツクラブ(楡葉まなび館内)  
☎0240-26-0076

## 町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

11月1日から11月30日までに農林水産物処理加工施設で実施した食品等の放射能検査結果の集計となります。

食品分類(基準値)	105検体中、基準値超件数 6 食品名(基準値超件数/検体数)最小値~最大値(Bq/kg)					
山菜(100) (2/4)	シイタケ (1/2) 41.55~299.13	畑シメジ (0/1) 28.91	ダルシメジ (1/1) 498.03			
野菜(100) (0/15)	サトイモ (0/3) ND~9.47	ハクサイ (0/1) ND	ダイコン (0/3) ND	ヤマイモ (0/1) ND	春菊 (0/1) ND	サツマイモ (0/1) ND
	チンゲンサイ (0/1) ND	ターツァイ (0/1) ND	丸ダイコン (0/1) 6.16	はやと瓜 (0/1) ND	赤ダイコン (0/1) ND	
水類(10) (0/2)	沢水 (0/1) ND	井戸水 (0/1) ND				
その他(100) (4/84)	ユズ (0/28) 5.30~63.31	カキ (0/31) ND~48.90	キウイ (0/6) ND~33.72	ミカン (0/6) ND~8.70	コンニャク (0/1) ND	干し柿 (0/4) ND~38.14
	猪肉 (3/3) 188.40~1,538.05	蜂蜜 (0/1) 11.51	カリン (0/1) ND	シークワサー (0/1) 6.18	切干大根 (1/1) 185.08	クルミ (0/1) 18.32

※区分は県の区分に従いました。色字は検査した食品のうち国の基準を超えた検体数です。  
 ※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キロ当たり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。  
 ※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。  
 ※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。  
 ※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開していきます。

お問い合わせ先：産業振興課 ☎0240-23-6104 自家消費食品等簡易測定所 ☎0240-23-6557

## 檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(12月実施分)

- 調査期間 平成30年12月3日
- 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
- 測定方法 地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。  
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載する(県指定測定方法に基づき実施)

### 4 測定結果

測定箇所	測定値(μSv/h)		測定箇所	測定値(μSv/h)			
	地上1.0m	地上1.0cm		地上1.0m	地上1.0cm		
	今月測定値	今月測定値		今月測定値	今月測定値		
檜葉町役場	(玄関前)	0.08	0.09	上繁岡地区集会所	(駐車場)	0.24	0.26
檜葉町公民館	(玄関前)	0.08	0.08	塩貝の大力ヤ	(駐車場)	0.19	0.22
檜葉町コミュニティセンター	(ロータリー)	0.15	0.18	松館地区集会所	(駐車場)	0.19	0.20
萩平地区集会所	(駐車場)	0.13	0.15	墓地公園(入口前)	(道路)	0.18	0.16
浄光西地区集会所	(駐車場)	0.16	0.17	旭ヶ丘地区集会所	(駐車場)	0.16	0.19
向ノ内地区集会所	(駐車場)	0.15	0.21	大谷地区集会所	(駐車場)	0.12	0.12
下繁岡地区集会所	(駐車場)	0.12	0.13	総合グラウンド	(陸上フィールド)	0.07	0.08
営団地区集会所	(駐車場)	0.12	0.12	檜葉中学校	(校門)	0.09	0.09
波倉地区集会所	(駐車場)	0.17	0.19	鐘突堂地区集会所	(道路)	0.11	0.12
ぼらぐち(自宅門前)	(駐車場)	0.20	0.16	上井出地区集会所	(駐車場)	0.10	0.11
繁岡地区集会所	(駐車場)	0.16	0.19	竜田駅	(入口前)	0.11	0.10

※全測定結果は、ホームページから閲覧することが出来ます。  
 ※平成29年5月調査より、測定箇所を概ね北部と南部に分けて2か月に1度の測定に変更いたしました。12月は北部の測定結果を掲載いたします。

お問い合わせ先：くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

### ◆蛇口における水道水中の放射性物質モニタリング検査について

双葉地方水道企業団では、安心して水道水をお使いいただくために、ご家庭の蛇口から出る水道水の放射性物質検査を実施しています。検査を希望される方は、検査受託事業者へお申込みください。

申込期間は、2月28日(木)までです。

お申込み方法	検査受託事業者：(株)東微生物研究所環境衛生事業部いわき
	①郵送の場合 / 〒970-1144 いわき市好間工業団地4-18 ②FAXの場合 / FAX番号：0246-36-7142

お申込みには、専用の申込用紙(チラシ)が必要です。ホームページから印刷していただくか、お電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先：双葉地方水道企業団 施設課浄水係 ☎0240-25-5341

### ◆浄水場見学のご案内

双葉地方水道企業団では、水道水の安全・安心を再確認していただくことを目的に、浄水場の見学を随時受け付けています。

ご家族やお友達同士、学校・企業など、どのようなグループでもOKです！  
 まずは、お電話にてご相談ください。

見学のご相談・お申し込みは  
 双葉地方水道企業団 総務課総務係  
 ☎0240-25-5315まで

## 檜葉町内居住者集計表(H30.11.30現在)

### 【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
2,957	3,537	3,445	6,982

### 【町内居住者】

行政区	世帯数	人数	行政区	世帯数	人数
上井出	251	482	上小埜	83	179
下井出	190	243	下小埜	199	478
北田	318	633	山田岡	246	500
大谷	75	178	前原	38	79
松館	35	79	山田浜	36	85
上繁岡	55	117	榎木下	1	4
旭ヶ丘	0	0	女平	15	29
繁岡	87	131	大坂	8	23
下繁岡	79	147	小計	626	1,377
波倉	16	30	合計	1,828	3,599
営団	94	179			
乙次郎	2	3	町内居住率	世帯	人
小計	1,202	2,222		61.82%	51.55%

### 【町内居住者年代別集計表】

年代	人数	年代	人数
0~4歳	120	60~64歳	326
5~9歳	63	65~69歳	412
10~14歳	69	70~74歳	268
15~19歳	105	75~79歳	250
20~24歳	146	80~84歳	206
25~29歳	158	85~89歳	151
30~34歳	165	90~94歳	63
35~39歳	154	95~99歳	22
40~44歳	183	100~104歳	3
45~49歳	192	合計	3,599
50~54歳	224		
55~59歳	319		

檜葉町内居住者について

① 町内居住者数 / 当月末の町内に居住する者の数。

② 町内居住率 / 当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合を町内居住率とする。

$$\text{町内居住率(\%)} = \frac{\text{町内居住者数}}{\text{住民基本台帳人口(月末)}}$$

## 檜葉町仮設焼却施設における廃棄物処理状況(環境省からのお知らせ)

【平成30年11月末時点】

### 1 廃棄物処理状況

(1) 仮設焼却施設処理

総処理量	75,983t
------	---------

※総処理量には、埋却牛442頭を含む。

(2) 除染仮置場からの搬出状況

※ 除染仮置場からの可燃性除染廃棄物の搬出は終了致しました。

### 2 各種モニタリング結果について

(1) 焼却灰

	放射性物質濃度(Bq/kg)	総発生量
主灰	1,800~71,000※1	約11,278t
飛灰	6,600~83,000※1	約3,964t

(2) 放射性物質濃度測定結果

モニタリング項目	測定日	測定結果	単位
排ガス	11月15日	<sup>134</sup> Cs	ND(0.7)※2
		<sup>137</sup> Cs	ND(0.7)※2
地下水(下流)	11月23日	<sup>134</sup> Cs	ND(1.1)※2
		<sup>137</sup> Cs	ND(1.1)※2

(3) 空間線量率測定結果

	仮設焼却施設入口	仮設焼却施設管理棟前	仮設灰保管施設東側	単位
施設稼働前(H28.10.1~10.22)	0.130~0.139	0.132~0.153	0.175~0.183	μSv/h
施設稼働後(H30.11.1~11.30)	0.097~0.120	0.129~0.151	0.154~0.171	μSv/h

※1:放射性物質濃度は焼却開始からの累計です。  
 ※2:NDとは検出下限値( )内の数値)未満を意味します。

お問い合わせ先：環境省 福島地方環境事務所 減容化施設整備課 ☎024-563-6954

## 水道水中における放射性物質のモニタリング結果

■採水場所：小山浄水場

■水 源：木戸川(ダム放流水)

■採水年月日：平成30年11月1日~30日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、11月30日時点で放射性物質は不検出です。  
 ※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

《参考》検査日現在の目標値 (単位:Bq/kg)

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	-	10	10

■採水場所：北林配水池

■水 源：寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)

■採水年月日：平成30年11月1日~30日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関：双葉地方水道企業団  
 分析装置：ゲルマニウム半導体検出器 / 検査頻度：毎日  
 測定方法：水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

【双葉地方水道企業団から凍結防止のお願い】 気温が氷点下を下回ると、水道管や水道メーターが凍結して破損する恐れがあります。水道管は毛布などで包みビニールテープで固定し、メーターボックス内には布切れなどを入れたビニール袋を詰めるなど、早めの凍結防止準備をお願いします。

## 確定申告について<相馬税務署から>

- ①平成31年(2019年)1月から、**e-Tax(電子申告)の利用手続きがより便利になります。**
- マイナンバーカード方式:次のものをご用意ください。
    - (1)マイナンバーカード (2)ICカードリーダライタ※すでにe-TaxのIDを取得している方もe-TaxのID・パスワードが不要になります。
  - ID・パスワード方式:マイナンバーカードやICカードリーダライタをお持ちでない方も、e-Tax(電子申告)で申告できます。用意するものは、次の2つです。(ID・パスワード方式に対応したもの)
    - (1)ID(利用者識別番号) (2)パスワード(暗証番号)※1 IDとパスワードは税務署で職員と対面による本人確認を行った後に発行しますので、発行を希望される方は、運転免許証などの本人確認書類をお持ちの上、税務署にお越しください。
※2 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」でのみ利用できます。
- なお、従来どおり作成コーナーで申告書を作成して紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することもできます。  
国税庁ホームページ<http://www.nta.go.jp>

## ②平成30年分確定申告書にはマイナンバーの記載が必要です。

税務署に所得税等の確定申告書を提出する都度、マイナンバーの記載と本人確認書類(番号と身元の確認できるもの)の提示または写しを添付していただく必要があります。

《本人確認書類の例》

- (1)マイナンバーカード(番号確認と身元確認)
- (2)通知カード(番号確認)+運転免許証、健康保険の被保険者証など(身元確認)

※1 申告書作成会場においてになる際は、本人確認書類の持参をお願いします。  
※2 確定申告書を郵送する場合は、本人確認書類の写しの添付をお願いします。

## ③平成30年分の所得税等の確定申告書作成会場について

平成30年分の所得税(及び復興特別所得税)、消費税及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、次のとおり開設する予定です。

- 開設場所/『相馬市振興ビル』相馬市中村字塚ノ町65-16
- 開設期間/平成31年2月18日(月)~3月15日(金)《土、日を除く》
- 開設時間/9:00~16:00

※申告書作成会場の開設期間前および開設期間中、相馬税務署内では用紙の交付は行いますが、申告書作成相談は行いませんので、開設期間内に申告書作成会場にお越しください。

## ④「確定申告のお知らせ」の持参について

前年、各市町村や税務署の申告相談会場で確定申告書を提出された方につきましては、確定申告書等の用紙(確定申告書、収支内訳書など)が送付されません。

確定申告書等の用紙に代えて、予定納税額等の申告に必要な情報が記載された「確定申告のお知らせ」が送付されますので、各市町村や税務署の申告相談会場に来場する際は、申告に必要な書類とともに「確定申告のお知らせ」もご持参されますようお願いいたします。

## 『防災タウンページ』が届きます

日頃からの備えや災害時の行動のポイントを盛り込んだ『防災タウンページ福島県版』がNTTタウンページ(株)から発行され、1月中旬に各世帯に『タウンページ』とともに届けられます。いざという時に備えて確認しておきましょう。

●お問い合わせ先/タウンページセンタ  
☎0120-506309(平日9:00~17:00)



## 野焼き(廃棄物の焼却)は禁止!

毎年、野焼き等による廃棄物焼却が原因で火災が発生しています。また、廃棄物の焼却は法律により禁止されています。違反した場合、「五年以下の懲役若しくは千万以下の罰金又は両方」が科されます。

## 住民税の申告・所得税の申告相談

平成31年度町県民税の申告及び所得税の申告相談を次のとおり行います。  
詳細については2月号で改めてお知らせします。

- 期間/2月18日(月)~3月15日(金)
  - 場所/町コミュニティセンター 大会議室
    - 受付時間/9:00~16:00
    - ※3月11日(月)~14日(木)は19:00まで
    - ※3月15日(金)は正午まで
    - 期間中の土日、祝日は行いません。
- お問い合わせ先/ 税務課 ☎0240-23-6101

## 『防災無線応答サービス』

町は防災行政無線を用い、町からのお知らせ等を行っています。  
戸別受信機や屋外の放送で「よく聞き取れなかった」という場合には、次の番号に電話をかけると聞き逃したお知らせを聞くことができますので、ご利用ください。

防災無線応答サービス電話番号  
☎0240-25-5805(通話料は無料です。)

●お問い合わせ先/ 政策広報室 ☎0240-23-6150

## 住宅用火災警報器は設置していますか?

住宅用火災警報器は、火災時に命を守る上で大切な設備です。法律でも住宅への設置及び維持が義務化されています(消防法第9条)。  
11月に小野町で発生した火災では警報器が設置されていませんでした。ご自宅の警報器を確認し、定期的な点検や交換を実施しましょう。また、未設置の場合は速やかに設置しましょう。

## 消防署からのお知らせ

年始から**【吹の用心】**を心がけましょう!  
空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。県内でも住宅火災により多数の死者が発生しています。  
大切な命、財産を守るため火の取扱いには十分注意してください。  
一人ひとりの防火意識が地域の安全に繋がります。

火事と救急は119番

●消防署連絡先/  
浪江消防署 ☎0240-34-4111  
富岡消防署 ☎0240-22-2119

## 平成31年度檜葉町非常勤職員募集

檜葉町では、下記のとおり非常勤職員を募集します。高等学校卒業以上の学歴をお持ちの65歳未満の方で、次表の募集職種に応じた資格を満たす方が対象です。採用を希望される方は、受付期間内にお申込みください。  
◆受付期間:1月4日(金)から1月31日(木)まで

### ①募集職種、採用予定人員、職務内容及び受験資格等

試験職種	採用予定人員	職務内容	受験資格
一般事務	10人程度	行政事務の補助業務。	パソコン操作が可能な方
運転手	7人程度	公用車及び大型バスの運転業務。	大型第2種運転免許以上の資格を有する方
介護支援専門員	1人程度	介護認定調査業務。	ケアマネジャーの資格を有する方
保健師	2人程度	母子保健・成人保健等の保健衛生に関する専門的業務。	保健師の資格を有する方
生活支援員	2人程度	特別支援学級支援業務。	介護福祉士、又はヘルパー2級以上の資格を有する方、または、これらに類する業務に従事した経験を有する方
用務員	3人程度	学校の用務業務。	パソコン操作が可能な方
保育士・幼稚園教諭	4人程度	保育及び幼児教育に関する専門的業務。	保育士・幼稚園教諭等の資格を有する方
栄養士	1人程度	給食に関する栄養指導業務。	栄養士の資格を有する方
添乗員	2人程度	通園バス添乗業務。	資格制限なし

②任用期間/採用される日(平成31年4月1日予定)から平成32年3月31日まで ●お問い合わせ先/  
③その他/詳細については、ホームページまたは右記までお問い合わせください。 総務課 行政係 ☎0240-25-2111

### みんなの掲示版

竜田駅西側エリアの  
これからを考えよう

竜田駅西側を中心とした上井出地区の賑わいに向けて、みんなでアイデア・意見を出しあいましょう。  
多くの皆様のご参加お待ちしております。

日時/1月16日(水) 18:00~  
場所/みんなの交流館  
「ならばCANvas」

●お問い合わせ先/  
小野 治久 080-6037-6253  
佐藤美由紀 080-2825-9293

## 県立テクノアカデミー浜 追加募集

『福島県立テクノアカデミー浜』(南相馬市原町区設置)では、平成31年4月入学生を募集します。

- ①追加募集科(募集人員:11月27日現在)
    - ①短期大学校/(1)計測制御工学科(10名)
    - ②能力開発校/(1)機械技術科(5名) (2)建築科(9名)
  - ②募集日程
    - ①3次入学試験  
(1)出願期間:1月7日(月)~1月11日(金) (2)試験日:1月18日(金)  
(3)合格発表:1月23日(水)
  - ③試験内容
    - ①筆記試験:数学I(短期大学校)、数学Iまでの基礎(能力開発校) ②面接試験
  - ④対象者  
高等学校卒業業者及び卒業見込みの者
  - ⑤その他
    - ①平成31年度は授業料等が減免措置となり、入学検定料、入学科、授業料がすべて無料となります。  
※対象者は、東日本大震災時に学費負担者が被災地(福島・宮城・岩手県全域)に居住されていた方
    - ②出願の手続き方法など詳しい説明及び学校見学などを希望する方は、お問い合わせください。
- お問い合わせ先/福島県立テクノアカデミー浜 ☎0244-26-1555  
ホームページ <http://www.tc-hama.ac.jp/>

## 個別就職相談会

就職活動に対する不安の相談や履歴書等の書き方などを、巡回相談員にお気軽にご相談ください。

日時/1月17日(木) 13:00~15:00  
場所/みんなの交流館「ならばCANvas」

●お問い合わせ先/  
ふくしま生活・就職応援センター富岡事務所  
☎0240-23-7880

## シニア向け就職面接会 in 檜葉

概ね50代以上の方を対象とした、就職相談会が実施されます。参加企業は、檜葉町をはじめ周辺の自治体の企業20社ほどの予定です。直接、企業の採用担当者とお話できる機会です。ぜひご参加ください。

●日時/2019年2月5日(火) 15時00分~16時30分  
●場所/みんなの交流館「ならばCANvas」  
●費用/無料  
●参加方法/申し込み・持ち物不要、当日直接お越しください。

●お問い合わせ先/福島求人支援チーム応募事務局(経済産業省委託事業)  
☎0120-910-195(平日10時~17時) 図メール:info.fukushima@bizreach.co.jp

ならはカレンダー (平成31年1月) JANUARY 2019

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1月1日 元日	2	3	4 檜葉町役場 仕事始め	5
役場閉庁日(日直対応となりますのでご了承ください)						可燃
6	7 ②ノルディック教室 (檜葉・いわき) 10:00~	8 ②ソフトバレーボール教室 (まなび館体育館) 19:00~20:30	9 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00	10 ②太極拳教室 (まなび館体育館) 13:30~15:00	11 ②いいやんベイクササイズ (まなび館体育館) 10:00~11:30	12
	ペット・ブラ	可燃		ピン	可燃	
13 成人式 (コミセン) 12:00	14 成人の日 ペット・ブラ	15 ②フラワーアレンジメント教室 (まなび館) 10:00~	16 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00	17 もろもろ塾 (サロンふらっと) 10:00~14:00 要予約 ②太極拳教室 (まなび館体育館) 13:30~15:00	18 ②いいやんベイクササイズ (まなび館体育館) 10:00~11:30	19 ウォーキング教室 (栃木県日光市)
	可燃	可燃		可燃	可燃	
20 消防団出初式 (檜葉まなび館) 9:30 新春交歓会 (Jヴィレッジ) 12:00 ウィンター イルミネーション 最終日	21 ②ノルディック教室 (檜葉・いわき) 10:00~	22 タブレット講習会・相談会 (第8応急仮設談話室) 10:00~12:00 13:30~15:30 ②ソフトバレーボール教室 (まなび館体育館) 19:00~20:30	23 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00	24 タブレット講習会・相談会 (交流館) 9:30~11:30 13:30~15:30	25	26 Jヴィレッジ再開記念 ハーフマラソン大会 9:00スタート 
	ペット・ブラ	可燃		不燃・カン	可燃	
27	28 ②ノルディック教室 (檜葉・いわき) 10:00~	29	30 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00	31	2月1日	2 スノースクール (猪苗代町)
	ペット・ブラ	可燃		可燃		
3 節分 	4 立春 ②ノルディック教室 (檜葉・いわき) 10:00~	5 広報ならは 2月号発行	6 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00	7 ②太極拳教室 (まなび館体育館) 13:30~15:00	8 ②いいやんベイクササイズ (まなび館体育館) 10:00~11:30	9
	ペット・ブラ	可燃		ピン	可燃	

②:ならはスポーツクラブ事業

医療機関 情報	◆ 県立ふたば復興診療所(ふたばリカーレ) ☎0240-23-6500	◆ ときクリニック ☎0240-25-1222																														
	<table border="1"> <tr><th>診療科目</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr> <tr><td>内科</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>○</td><td></td><td>午後のみ</td><td>○</td><td></td></tr> </table>	診療科目	月	火	水	木	金	内科	○	○	○	○	○	整形外科	○		午後のみ	○		<table border="1"> <tr><th>診療科目</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr> <tr><td>内科・小児科</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table> <p>※来院時送迎あり</p>	診療科目	月	火	水	木	金	内科・小児科		○	○	○	○
	診療科目	月	火	水	木	金																										
内科	○	○	○	○	○																											
整形外科	○		午後のみ	○																												
診療科目	月	火	水	木	金																											
内科・小児科		○	○	○	○																											
◆ 県立ふたば医療センター附属病院 ☎0240-23-5090 救急のみ 24時間365日	◆ 蒲生歯科医院 ☎0240-25-2061 歯科(月~金)																															

今月の健康増進事業

	日にち	時間	内容	場所
もろもろ塾	1/17(木)	10:00~14:00	竹ぼうきづくり	あおぞらこども園内 サロン「ふらっと」
もろもろ塾は申込みが必要です。☎0240-25-4157までお電話ください。				
合気道	毎週水曜日	18:00~20:00	合気道	武道館
元気アップ 教室	1/9(水)	13:30~15:00	Jヴィレッジフィット ネスジムのトレーナー が運動やストレッチ等 を支援します。	あおぞらこども園内 サロン「ふらっと」
	1/16(水)			
	1/23(水)			
	1/30(水)			

各地区の「鳥小屋」

次の地区では、冬の風物詩「鳥小屋」が行われます。ぜひ、お正月飾りなどを持ち寄ってご参加ください。



北田	1月8日(火) 18:30	関電工モータープール北側の農地
下繁岡	1月8日(火) 18:00	下繁岡のため池西側の農地
大谷	1月12日(土) 17:00	大谷集会所東側の農地

◎詳しくは、各行政区の役員にお問い合わせください。

1/21(月) 原子力防災訓練 (広報訓練)

福島県原子力防災訓練における広報訓練が1月21日(月)町内においても実施されるため、防災行政無線・広報車・エリアメールでの広報を行います。

訓練のため、避難の必要はありません。

ご迷惑をおかけしますが、重要な訓練です。ご理解いただけますようお願いいたします。

訓練日時/1月21日(月) 13:00~17:00

◎お問い合わせ先/  
福島県原子力安全対策課 ☎024-521-7254  
檜葉町暮らし安全対策課 ☎0240-23-6109

申請期限にご注意ください!

各種給付金の申請期限が近づいています。申請がお済みでない方は、お早目にお手続きください。

3月31日まで	檜葉町生活再建完了給付金 檜葉町帰還支援事業補助金 檜葉町住宅清掃費補助金
4月10日まで	被災者生活再建支援制度

◎お問い合わせ先/  
暮らし安全対策課 ☎0240-23-6109

1月の納税等

- 国民健康保険税(7期) **納期限:1月31日(木)**
- 後期高齢者医療保険料(6期)

忘れずに納めましょう。また、口座振替の方は1月31日(木)に引落としとなりますので、残高の確認をお願いします。

《平成31年度固定資産税》

平成30年度で2分の1軽減が終了となり、平成31年度からは通常課税に戻りますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

◎お問い合わせ先/税務課 ☎0240-23-6101  
住民福祉課 ☎0240-23-6102

おめでとうございます

氏名	保護者名	行政区	氏名	保護者名	行政区
すずき あおい 鈴木 葵結	俊祐・麗香	営団	うさみ 宇佐美かな	慶太・美乃	大谷
よこた れお 横田 怜音	貴久・幸	下小嶋	こ あよく 胡 安翼	胡博・趙焜	繁岡

(広報ならは12月号掲載以降にお生まれになられた方) (敬称略)

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
松本美代子	89	山田浜	早川傳五郎	85	上小嶋
富野 豊子	84	上井出	鈴木 幹夫	88	下繁岡
根本 正代	91	上井出			(敬称略)

(広報ならは12月号掲載以降亡くなられた方)

# Jヴィレッジ再開記念ハーフマラソン 通行規制にかかるご協力のお願い



1月26日、Jヴィレッジ再開記念ハーフマラソンが開催されます。Jヴィレッジをスタート・フィニッシュとし、ここなら笑店街を折り返し、広野町を通過するコースです。レース時間中、コースとなる道路を一時通行規制させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- 日時** 1月26日(土)  
9時にJヴィレッジをスタートし、最大で12時まで  
※檜葉町内は最大で10時30分頃まで  
※最終走者が通過後、速やかに規制解除
- コース** Jヴィレッジをスタート→木戸の街中(県道)→  
細内交差点→ここなら笑店街内(折り返し)
- その他** 通行規制時、コース上には緊急車両以外は進入できませんので、警察官または誘導係員の指示に従ってください。

お問い合わせ先：教育総務課 ☎0240-23-6190



## 町長コラム

MAYOR'S COLUMN

Vol.14



### 今年こそは

昔に比べてイベント感が薄くなっているように思いますが、それでも年末年始はいいものです。年末は慌ただしいながらも、新しい年への期待感も湧いてきます。「今年こそは」と1年の計を立てる方もいらっしゃるでしょう。

震災以降、「農業」と「教育」を二本柱として復興にあたってまいりましたが、今年には屋内体育施設「ならはスカイアリーナ」が4月にオープンし、Jヴィレッジも全面再開することになっており、スポーツ振興の拠点として、町の新たな挑戦が始まる年です。

春には道の駅の温泉施設も再開する予定です。来年にせまってきました。今後、町への交流人口が拡大することが予想され、大いににぎわいが増すものと期待しています。

私も、今年自分自身の健康のために、アリーナに通って運動を継続したいと思っています。今年こそは！(笑)。

今年も町政へのご協力をお願い申し上げますとともに、皆様が健康で、そして笑顔で二年を過ごされますようお願いいたします。

## 檜葉町役場 連絡先一覧

### 檜葉町役場本庁舎

- 総務課 ●税務課 ●住民福祉課 ●復興推進課
- 政策広報室 ●産業振興課(農業委員会含む)
- 新産業創造室 ●建設課 ●くらし安全対策課
- 出納室 ●議会事務局

〒979-0696 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6  
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564  
☎0120-562-171(フリーダイヤル)  
E-mail: naraha@town.naraha.lg.jp  
【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】

### 檜葉まなび館

(旧檜葉南小)

- 教育総務課(体育協会含む)
- ならはスポーツクラブ

〒979-0514 双葉郡檜葉町大字下小塙字表入31  
TEL 0240-23-6190  
FAX 0240-23-6192

### 仮設住宅等対策室

高久第8応急仮設住宅に移動

土日祝日の日直業務は  
ありません

〒970-8042 いわき市平上高久字大日作1  
TEL 0246-88-1234  
FAX 0246-88-1244

### あおぞらこども園

- 子育て支援センター

〒979-0604 双葉郡檜葉町大字北田字中満296-1  
TEL 0240-26-0808  
FAX 0240-25-1145



檜葉町公式ブログ  
ところ、つなく、ならは

<http://ameblo.jp/naraha7700/>



檜葉町  
公式 Facebook

<https://www.facebook.com/kokoro.tsunagu.naraha>